

ものがたり観光シンポジウム から瀬戸内へ

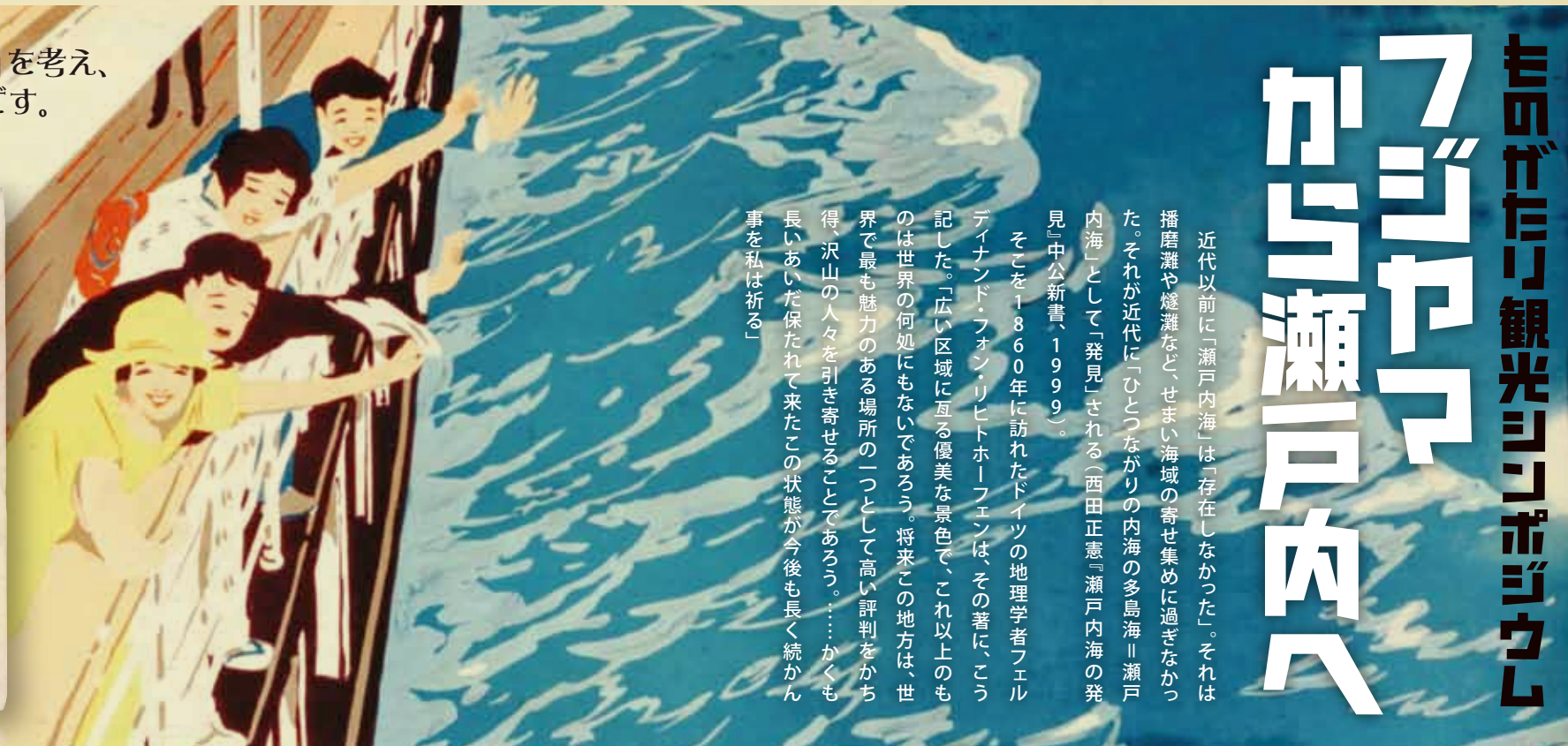
近代以前に「瀬戸内海」は「存在しなかった」。それは播磨灘や燧灘など、せまい海域の寄せ集めに過ぎなかった。それが近代に「ひとつながりの内海の多島海＝瀬戸内海」として「発見」される（西田正憲『瀬戸内海の発見』中公新書、1999）。

そこを1860年に訪れたドイツの地理学者フェルディナンド・フォン・リヒトホーフは、その著に、こう記した。「広い区域に亘る優美な景色で、これ以上のものは世界の何処にもないであろう。将来この地方は、世界で最も魅力のある場所の一つとして高い評判をかく得、沢山の人々を引き寄せることであろう。……かくも長いあいだ保たれて来たこの状態が今後も長く続かん事を私は祈る」

「ものがたり観光の時代」を考え、
行動するシンポジウムです。

シンポジウム 参加申し込み方法

- 参加希望者は必ず往復八方舟でお申し込みください。参加資格は観光学習に興味ある概ね高校生以上の方とします。
- 参加証を返送しますので返信用八方舟にも「自宅住所の記入」をお願いします。
- 参加者1名ごとに、1枚の参加証が必要です。
- シンポジウム参加費は無料です（ただし船内見学時の昼食は各自負担）。
- 下記参加パターンA班、B班、C班のいずれかを必ず明記してください。4/7消印有効。先着400名で締め切ります。
- 申込先：〒530-0047 大阪市北区西天満6-5-17 デジタルエイトビル5F ものがたり観光行動学会「4/17シンポジウム」係まで。
必ず住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。
- 問い合わせ先：ものがたり観光行動学会
☎06-6311-3325



日時
4月17日 [土]
「13時半～16時50分」開場13時

■別途に船内見学を希望される方は左記の案内に従ってください。

会場
WTCホール
地下鉄「トレードセンター前」駅徒歩5分

- 主催/ものがたり観光行動学会
- 後援/大阪市
- 協力/商船三井（乗スタ1原画提供）

トラベルニュース社、NPO法人もうひとつの旅クラブ
NPO法人DREAM ISLAND（小豆島）
井上誠耕園（小豆島）、フェリーさんぽらわあ
シンカ・コミュニケーションズ、大阪千代田短期大学

集合時間と船内見学 プログラム

A班 11時集合 B班 11時半集合

それぞれの指定時刻までに南港ポートタウン線「トレードセンター前」駅下車すぐの「フェリーさんぽらわあ待合室」集合。船内レストランにて昼食後（各自負担900円）約25分間の操縦室・特別客室などを巡る船内見学会に出発。その後、各自にてシンポジウム会場に集合する。WTCホールまで徒歩8分。

C班 船内見学しない

シンポジウム開演時刻13時半迄に会場・WTCホールに集合。

シンポジウムプログラム

「13時半～16時50分」開場13時

事前の案内10分

記念講演
瀬戸内を旅すれば

旅の文化研究所 所長 神崎宣武

基調講演
瀬戸内海の物語

奈良県立大学 地域創造学部 教授 西田正憲

問題提起
観光政策の陰影

関西学院大学 副学長・教授
ものがたり観光行動学会 副会長 加藤晃規

休憩5分

事前の案内5分

デイスカッションステージ 80分（右記までの登壇者を含む）

瀬戸内は幻か

コーディネーター
佛教大学 社会学部 教授
ものがたり観光行動学会 副会長 高田公理

パネリスト
国際日本文化研究センター 教授
ものがたり観光行動学会 会長 白幡洋三郎
日本コナモン協会 会長 食文化研究家
ものがたり観光行動学会 理事 熊谷真菜
国土交通省 海事局 次長 大黒伊勢夫

提言10分

瀬戸内のススメ

白幡洋三郎

終演案内5分

フロアー司会 フリーアナウンサー

大阪千代田短期大学 非常勤講師 水村真弓

全体進行 大阪千代田短期大学 物語観光情報研究センター 所長
ものがたり観光行動学会 専務理事 李 有師

